



第58号  
平成20年  
9月発行

敬老の日に寄せて

— 望洋荘での百三歳と百一歳のお二方を祝う —

社会福祉法人りんさく福祉会

理事長 須田 洵

全国の百歳以上の高齢者が、今年の九月で過去最多の三万六千二百七十六人に上がり、うち女性は三万人(三万二千二百十三人)を突破していることが、厚生労働省の調査で判明しました。男性は初めて五千人(五千六十三人)台となりました。

県内では、百歳以上の長寿者は五百四十九人で、年々増えています。内訳は百歳が二百五十人、百一歳が百四十五人、百二歳が四十六人、百三歳が五十八人、百四歳が二十三人、百五歳が十七人、百六歳が七人、百八歳が一人、百九歳が二人となつています。人口十万人当りの百歳以上の高齢者数は二七・四三人で全国順位は三十二位です。

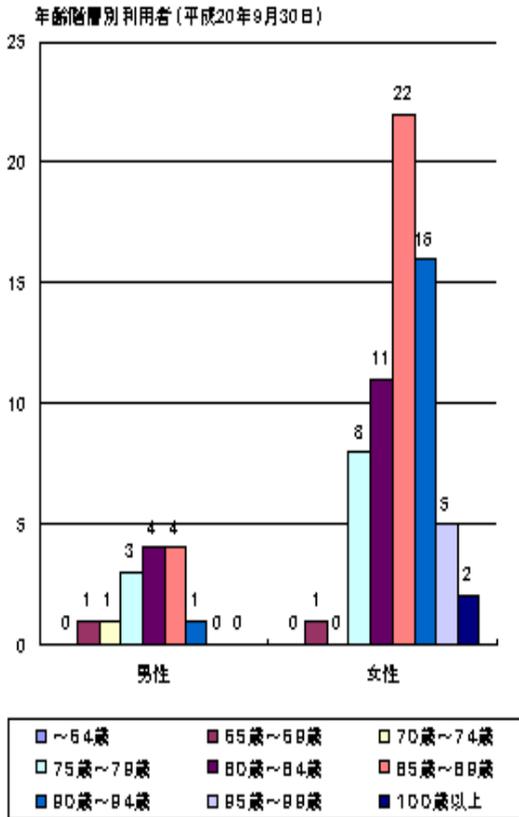
当望洋荘での入所者の年齢動態は下表の通りです。その中で山際様が百三歳で当荘一番の長寿者で県内五十三人の内の一人です。百一歳になられた本導様が県内四十六人の内の一人になっています。お二方とも、お元気ですし、大変喜ばしい事で職員一同の自慢でもあり尚一層の励みになっています。

生・病・老・死は人を含めた生物にとつては避けては通れない宿命である。この世に生を受けて長命であるという事は、世の中には実に様々な病気があり、それらを克服して生き延びてきたと言う事でしょうか。そして、長い長い人生を刻

<望洋荘入居者の年齢動態表>

年齢階層別入居者状況

	男性	女性	合計
～64歳	0	0	0
65歳～69歳	1	1	2
70歳～74歳	1	0	1
75歳～79歳	3	8	11
80歳～84歳	4	11	15
85歳～89歳	4	22	26
90歳～94歳	1	16	17
95歳～99歳	0	5	5
100歳以上	0	2	2
計	14	65	79
最高年齢	92.1	103.5	
最小年齢	68	68.6	
平均年齢	81.7	87.4	



んでいく中で、家庭を中心とした喜怒哀楽の繰り返しがあつたことでしょうか。今、高齢者となつて過ぎし日の事柄を明るく気持ちで思い出し、ここ「望洋荘」に住む仲間と語り合えたら素晴らしいことですね。病氣と死は誰にも分け隔てなく訪れます。職員一同には皆さんと一緒になつて一日でも永く楽しく明るく長寿を全う出来るよう生活の場としての環境作りに努力してほしいと念じています。

「第五回 望洋荘祭り」

九月十五日(敬老の日)午後三時より「第五回 望洋荘祭り」を開催致しました。今回は初めての青空の下での開催であり、自然の中で解放感のあるお祭りとなりました。

当日は御多忙の中、多くの方々にご協力及びご参加を



和太鼓の会「さつき」様の景気の良い太鼓で祭りが始まりました。



入居者代表で 103 歳の山際様に「開会宣言」をして頂きました。



今年も「下神谷青年会」様に「じゃんがら念仏踊り」をご披露頂きました。



「クラブ S」様による「フリディンク」です。すごく元気で可愛かったです。



いつもお世話になっている「キャプテン船水」様のハーモニカ演奏です。



最後はみんなで、やぐらの周りを踊りながら回ってお祭りを締めくくりま



「みなみ御囃子会」様の御囃子にのってみんなで踊り流しました。



「カプア モリナ フラスタゴ」様の南国ムードたっぷりのフラダンスは素晴らしかったです。



厨房の「メフォス」様に美味しい焼きそばを作ってもらいました。



模擬店コーナーでは、多くのお客様で賑わい品切れ続出でした。



家族会様による、豚汁・焼鳥も大好評で、焼くのが間に合わない状況でした。

「フラワーセンター見学」勿来

九月二十六日(金)午前九時三〇分より、勿来ユニットの入居者様四名でフラワーセンターに行つて来ました。この日はあいにく雨が降ったり止んだり天気肌寒い日でありましたが、到着した時には、雨もあがり、様々なお花を見学して楽しむことが出来ました。ただ少し肌寒く予定より早目に切り上げ、いわき駅周辺をドライブして来ました。特に、ここ最近のいわき駅前の変化には、皆様もびっくりされていました。



## 『投稿作品』の紹介②

先月号に続き、渡辺芳重さん著書「遠い記憶…愛しの孫たちへ」を紹介させて頂きます。

### 遠い記憶 (その2)

…愛しの孫たちへ…

渡辺 芳重 著

### 起 床

六時、起床ラッパが鳴る。一斉に飛び起き、着衣。寝具を整頓し、石廊下で軍靴を履き営庭に整列、点呼を受ける。体操、駆足など約三〇分で朝の食事ラッパが鳴る。

### 訓 練

八時、営庭に出て昨日教育された発声練習・気を付けの姿勢・敬礼の仕方・隊列の組み方・進行の仕方・等基本動作を教育係上等兵殿から訓練開始された。昨日からの一昼夜は実に慌ただしかった。

各自の武器として授与される小銃には菊花御紋章が刻まれて居るので粗末な取扱いは許されない。分解・組立・手入れ・操作の仕方等訓練される。約二〇日程で小銃訓練は一通り終了。銃剣術・短剣術の訓練もされた。いよいよ重機関銃の訓練に入る。重機関銃は一分間に三〇〇発、発射できる。総重量六〇キロ。銃身と脚台に分解できる。四人

で肩に担ぐか手に下げる、又は分解して二人で運ぶ。射撃には一度に五、六発を撃つ点射と、五〇発も一〇〇発も一斉に撃つ薙射がある。一艇を一人ほどで取り扱う。弾を運ぶ者が五、六名従った。

連日連夜猛訓練が続いた。古城・鶴ヶ城は石垣だけの姿だ(戦後天守閣が再建された)。その部隊隣にある城門前の練兵場から城内に向かって匍匐前進し、天守閣の石垣の積み目の空き間に手足を懸けてよじ登り、ロープを垂らし、分解した三〇キロの小銃身を背負って登り下りする訓練は辛かった。誰か一人でもへまをすると全員にビンタが飛んだ。戦場では一人の油断が全員の命取りになるからだときとされて納得した。

九月末に聯隊長殿の一期検閲が終了して、一月一日付きで一等兵(星二つ)に進級した。九月初め頃から、海上で輸送船からの上陸用船艇に乗り移る訓練が行われたので、海外の戦場派遣が予想された。六ヶ月の訓練で皆な立派な兵隊になった。

### 征 途

十一月二五日、支給された軍服は全て夏物だ。これで南方派遣と決まった。四月に入隊した同年兵の半数と新たに招集された古年兵約一〇〇〇名は明二六日に出発して目的地に向かうことになった。今日一日は身辺の整理と休養。各自髪の毛と指の爪を切って封筒に入れ、氏名を書いて差し出す様指示された。認識票も渡された。(認識票とは

小判型の真鍮板に血液型と全兵員の通し番号が刻まれて居り、たとえどこで死んでも身体が吹き飛んでも、これを調べれば身元が判るので、常に肌身離さず持つて居るもの)これで覚悟は決まった。死ぬことが其れ程恐ろしくないような気持ちになった。

十一月二六日一装用軍装着用完全武装して、営庭整列・皇居遙拝・残留部隊員と訣別式あり。夕方四時頃営門を出る。夕暮れは早く、辺りは薄暗い。小銃と軍刀の柄に巻かれた包帯が夕暮れの中うつつすと目に残る。出発を知った市民の方々が沿道に並び小旗を振って見送ってくれた。会津若松駅から汽車に乗る。窓は全部鎧戸が下ろされ外は見えない。

十一月二九日広島駅到着。その夜は市民の好意で全員市民宅に分宿した。

十一月三〇日宇品港より舢舨で輸送船に乗る。七、八千トンくらいの大きな船だった。船倉は三段になつており、更に其の各段を木材と板で上下に仕切つてある。一人当たりのスペースは手足を縮めてやつと横になれる位しかない。これが船首と船尾にあり、これ全部に兵隊が詰め込まれた。蚕棚の蚕の様だ。翌日の夕方になって揺れ出したので、甲板に出てみたら陸地が見えるので船員に尋ねた。大分県の佐伯港の沖で、これが日本陸地の見納めだと教えられた。十七日目の夕方、地平線に小さな島影が見えた。近づくにつれ段々と大きくなり陸地になった。夜になってラバウル港に着いた。

「望洋荘家族会からの要望書」  
に対する施設内改善報告 ④

前月号に引続き、要望書の内容による改善方法を、皆様へ報告させて頂きます。

⑤ 施設職員の服装や身だしなみについて

要望18、制服を着て欲しい(費用が大変ですね)

要望19、男子職員に乱れが感じられます  
要望20、一人ひとりバラバラなので、上着等は統一してほしい

【改善内容及び回答】

施設の方針として、家庭的な雰囲気を持ち安心して過ごせる施設作りを掲げております。その為、統一した服装(制服)では家庭的ではなく、施設感覚が強くてしまうことから、現在のところ制服の着用については申し訳ありませんが、予定しておりません。

職員それぞれが、私服を着用しており、この度の全体ミーティングにおいても職場での服装については指導しております。今後、皆様方で気になる職員がいた場合などは、随時、御意見くださいます様お願い致します。その都度指導徹底して行きたいと思っております。

⑥ 設備として充実させてほしいものについて

要望22、少なくとも、入居者がリハビリをす

る場所

要望24、リハビリ等が必要な人の為の用具など、遊び用具

要望34、関節が固まらないような運動のケアに力を入れて頂くとありがたいと思っております

【改善内容及び回答】

現状として、入居者様のリハビリをする場所は、塩屋崎ホール(リハビリ室)や廊下、各ユニット内及び各居室にてリハビリを実施しております。実施内容は、理学療法士(二週間に一回)の指示・指導のもとで、機能訓練員が一人ひとりの状態に応じたリハビリ実施計画書を作成し、リハビリ用具(平行棒等...)や介護機器(歩行器等...)を活用しながら、看護師、針灸マッサージ師(毎週火・土曜日)及び各ユニット職員が、リハビリを実施し、身体機能の維持に努めています。その他各ユニットでビーチボールやハンドベルなど使用しレクリエーションなど行っています。また声を出すということでカラオケも行っています。

要望23、テレビが誰も居ないのに、つけっぱなしである。BGM等の工夫を取り入れてはどうか

【改善内容及び回答】

現状として、家庭的な雰囲気を取り入れる等の目的から、「一人ひとりが自室に戻っても、ホール(居間)に誰かがいる」という安心感をだす為、TVを付けている状況があります。

十月の行事予定

今後は、TV以外にも落ち着いて過ごせるようなBGMを取り入れていきます。

十月一日(水)より

入居者様・職員の健康診断を実施

十月二〇日(月) 四倉ユニット 午後二時～

「買い物ツアー」 スーパーセンター大原

十月二二日(水) 施設内 午後二時一五分～

「避難訓練」・「消火訓練」

十月二七日(月) 豊間ユニット 正午十二時半～

「ハワイアンズ見学」

【十月のお誕生会予定】

十月二日(木)

四倉 佐藤 キクエ様 (七六歳) 誕生会

十月九日(木)

薄磯 齋藤 清様 (八一歳) 誕生会

十月十日(金)

永崎 阿部 ナツ子様 (八六歳) 誕生会

十月十七日(金)

永崎 鈴木 勝弥様 (九〇歳) 誕生会

十月二五日(土)

四倉 田村 ハナヨ様 (九四歳) 誕生会

十月二九日(水)

永崎 安斎 富美子様 (八四歳) 誕生会

編集後記

『望洋荘』便り

平成二十年九月三十日発行

発行所 いわき市平豊間字合磯三十九番地

社会福祉法人 りんさく福祉会

介護老人福祉施設 望洋荘

電話 (0246) 55-7373  
FAX (0246) 55-7255